

# 令和5年度第2回江別市未来型政策検討委員会

## 会 議 録

令和5年7月28日(金)

江別市民会館 21号室

江別市未来型政策検討委員会事務局

(江別市企画政策部デジタル政策室)

## 目 次

1. 委員紹介	2
2. 開会	2
3. 議事	
(1) 江別市DX推進方針（案）に対する パブリックコメントの実施結果について	2
(2) デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係る進捗状況について	3
(3) 今後のスケジュール等について	6
4. その他	9
5. 閉会	11

## 令和5年度第2回江別市未来型政策検討委員会

1. 日 時 令和5年7月28日（金） 15時30分～16時30分

2. 場 所 江別市民会館 21号室

3. 出席者 江別市未来型政策検討委員10名、江別市8名（事務局含む）

江別市未来型政策検討委員会 (◎委員長)		
番号	氏 名	所 属
1	北川 裕治	江別商工会議所
2	龍田 昌樹	江別工業団地協同組合
3	布施 望	道央農業協同組合
4	川口 圭太	江別市社会福祉協議会
5	佐藤 誠一	江別市自治会連絡協議会
6	樋口 裕晃	江別市 PTA 連合会
7	◎明神 知	北海道情報大学
8	佐藤 和夫	酪農学園大学
9	鈴木 秀明	市民公募
10	干野 里佳	市民公募
出席 10 名		

江 別 市 (事 務 局)		
番号	氏 名	所 属
1	白崎部長	企画政策部
2	伊藤次長	企画政策部
3	中島室長	企画政策部 デジタル政策室
4	天明屋参事	企画政策部 デジタル政策室
5	池田参事	企画政策部 デジタル政策室
6	坂口主査	企画政策部 デジタル政策室
7	鈴木主査	企画政策部 デジタル政策室
8	丸山主査	企画政策部 デジタル政策室
出席 8 名		

**【欠席者】**

江別市小中学校校長会 佐藤 貢 委員、札幌学院大学 渡邊 慎哉 委員  
北翔大学 浅井 貴也 委員

4. 傍聴者数 0名

## 1. 委員紹介

### ●事務局

本日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

「令和5年度第2回江別市未来型政策検討委員会」の開会に先立ちまして、今回の委員会より新たに委員になられた方をご紹介いたします。

江別市PTA連合会 樋口 裕晃様でございます。

新たに委員になられた樋口委員より、一言ご挨拶をお願いいたします。

《樋口委員より挨拶》

### ●事務局

ありがとうございました。

続きまして事務局に人事異動がございましたのでご紹介させていただきます。

《司会より、事務局の異動者の紹介》

それでは、以降の進行につきましては、委員長をお願いいたします。

## 2. 開会

### ●事務局

それでは、「令和5年度第2回江別市未来型政策検討委員会」を開会いたします。

江別市小中学校校長会の佐藤 貢委員、札幌学院大学の渡邊 慎哉委員、北翔大学の浅井 貴也委員は欠席のご連絡をいただいております。

なお、当会議における各委員の発言内容につきましては、市民参加条例に基づき作成した議事録を、事前に委員の皆様にご確認いただいた上で公開することといたしますので、予めご了承願います。

## 3. (1) 江別市DX推進方針(案)に対するパブリックコメントの実施結果について

### ●明神委員長

議事『(1) 江別市DX推進方針(案)に対するパブリックコメントの実施結果について』、事務局より説明願います。

### ●事務局

それでは、江別市DX推進方針(案)に対する意見公募(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方について、説明いたします。

資料1-1をご覧ください。

江別市DX推進方針(案)に対する意見公募については、令和5年5月26日から令和5年6月26日を募集期間とし、その結果、2人から計2件のご意見をいただきました。

意見の反映状況については、「案と意見の趣旨が同様と考えられるもの」が1件、「案の変更はないが、今後の参考等とするもの」が1件としております。

1ページめくっていただきまして、寄せられたご意見と市の考え方について説明いたします。

1件目のご意見としましては、市ではDX推進方針の策定を進めているが、DXの推進については、個人情報を取り違えや情報漏洩等のリスクも伴うことから、そう

いった懸念が無いようなデジタル情報行政であってほしいとの内容でございました。

こちらに対する市の考え方としましては、本方針の具体の取組事項において、「セキュリティ対策の徹底」を推進することを記載しており、情報セキュリティポリシーの見直しなど、個人情報等の漏えいが起きないように職員のセキュリティに対する意識の醸成に努めているところであり、市民が安心してサービスを利用できるよう、適切な行政運営に努めていくことから、意見の反映状況としては、B「案と意見の趣旨が同様と考えられるもの」としております。

次に、2件目の内容としましては、市役所内部の業務効率化や市民サービスの向上に資する具体のシステムについてご紹介いただいております、LINEを活用した申請手続きや、情報発信機能の強化など、様々な場面においての活用を提案いただいている内容でございました。

こちらに対する市の考え方としましては、市政業務の効率化と市民の利便性向上については、両面での検討を進めており、様々なシステムや他自治体の事例も参考にしながら情報収集に努めているところであり、いただいたご意見は、国の動向もふまえながら、今後のDX推進にあたっての参考とさせていただくことから、意見の反映状況としては、C「案の変更はないが、今後の参考等とするもの」としております。

次に、資料1-2をご覧ください。

こちらは、江別市DX推進方針（案）になりますが、前段でご説明したとおり、案の内容に修正等はありませんでしたので、前回4月27日に開催した会議でご説明した内容から、変更はありません。

今後は、8月に予定している庁内会議で意見公募結果を報告し、完成したDX推進方針については、委員の皆様へ配布するほか、各公共施設への配架も予定しております。

資料1-1、資料1-2についての説明は、以上になります。

#### ●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

《質疑なし》

#### ●明神委員長

それでは、今後軽微な修正等が入った場合には、これまでの議論を踏まえ、私と事務局で調整したいと思っておりますので、ご了承いただけますでしょうか。

《異議なし》

#### ●明神委員長

ありがとうございます。

### 3. (2) デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係る進捗状況について

#### ●明神委員長

それでは、「議事」「(2) デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係る進捗状況について」、事務局より説明願います。

## ●事務局

それでは、デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係る進捗状況について、説明いたします。

資料2をご覧ください。

生涯健康プラットフォーム推進事業については、現在に至るまで、適宜進捗状況等をご報告してきたところでございますが、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、これまでの経過も含め、ご報告いたします。

生涯健康プラットフォームは、3月末に完成を予定していたことから、市民の皆様への周知を兼ねて、市民説明会を合計3回実施させていただきました。

1回目は、令和5年2月21日に江別市民会館で開催し、その様子は動画(YouTube)でも配信いたしました。当日の参加者数については、会場参加が51人、動画配信の視聴者数が49人となっており、4月初旬まで当日の動画を配信した結果、視聴回数の合計は680回となっております。

2回目は、3月15日に中央公民館で開催し、参加者は29人、3回目は、3月16日に大麻公民館で開催し、参加者は30人でした。

市民説明会の開催後には、ページ下段にあるとおり、3月24日から順次サービスの運用が開始されております。

なお、3回の市民説明会でいただいた質疑の内容としましては、eウォッチの貸与条件や、eダイアリーとのデータ連携に関する質問が出ており、参加者へ行ったアンケートでは、eウォッチ、eダイアリーへの関心が高く、日々の心身の状態を記録し、自ら健康を管理していくことへの意識が高い傾向が見られました。

次のページをお開き願います。

生涯健康プラットフォームのサービス概要について記載しておりますが、本事業では、ウェアラブルデバイスでの記録サポートなど、日々の健康状態や食事内容等を簡単に記録・管理できるようにすることで、行動変容を促し、市民の健康意識を向上させることを目指しており、市が発信する健康関連の情報とも組み合わせながら、継続的に健康管理を推進していく仕組みを構築しています。

次に、資料下段の「今後の事業展望について」ご説明いたします。

今後は、アプリケーションの構築事業者が中心となり、「生涯健康プラットフォーム実装協議会」を立ち上げる予定であり、実装協議会が主体となってマーケティングや進捗管理などの普及促進を図り、事業全体を運用していきます。

また、電子母子手帳や医療データ連携のサービス拡充により、包括的に健康管理の取組を支援していくことで、生涯健康プラットフォームの機能を充実させ、他自治体への横展開を目指してまいります。

なお、資料には記載しておりませんが、3月末からサービスを実施してきた中で、利用者様からいただいた声としましては、「今まで意識することが無かったが、普段から日々の歩数や食事に注意を向けることで、健康的な生活を意識する習慣がついた」などの肯定的なご意見をいただいた一方で、画面表示や動作に関する不具合などについてもご意見をいただき、様々な面で今後改善していくべき点が見えてきました。

先ほどご説明申し上げたとおり、今後は生涯健康プラットフォーム実装協議会が中心となって本事業を運用していきますが、そういった利用者の皆様の声も踏まえながら、引き続き、市・大学・民間事業者が協力して、よりよいサービスの構築に努めてまいりたいと考えております。

資料2についての説明は、以上になります。

### ●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

### ●佐藤（誠）委員

私もeウォッチを愛用させていただいていますが、1点目として、めぶくIDの認証の仕組みの中で、いただいたマニュアルに認証に時間がかかるといった内容を何か一筆書いていただくといいのかなと思います。認証に時間が掛かっていると、Wi-Fiの接続の調子が悪いのかなど、余計なことを心配してしまって途中でやめてしまったりが最初失敗した原因だということが分かり、資料に記載されていると、じっくり待ってればいいということが分かると思います。

2点目は操作についてです。取得時に簡単なマニュアルをもらったのですが、それには操作方法が載っており、様々な機能が紹介されていますが、その画面を出す方法が書いていません。

スマートウォッチのことをなんとなくわかる方は、画面に触れながらそのメニューを出そうとする努力はすると思うのですが、初めての方は、これからどうすればいいのかかわからないと思います。簡単なことかもしれませんが、分からないことを前提にそういうマニュアルを作っただけだと、普及のためにいいのかなと思います。

あるいは、ユーチューブ等の動画を使って、インストールから使用方法までアップしていただくとありがたいなと思います。

### ●事務局

めぶくIDの認証時間やスマートウォッチの使用方法についてですが、少々分かりづらいというお声もいただいております。そのため、現在用意しているチラシもありますので、わかりやすく伝わりやすい表現を意識し、また、ユーチューブなどの動画配信についても検討してまいりたいと考えております。

### ●明神委員長

最初の入り口のところでつまずいてしまうおそれがあるので、それを紙で書くのは大変だと思いますので、何かユーチューブのような動画とかの方が向いているかもしれませんね。

そのあたりについてご検討いただき、誰でも使えるようにしていただきたいなと思います。

### ●樋口委員

ただいまご説明のあったスマートウォッチは、現時点で何台ぐらい用意されているのかということと、今後は、どれぐらいの期間でどれぐらい増やしていかれるお考えなのか質問させていただきます。

### ●事務局

eウォッチは、6月30日時点で予約数も含め約5,400台配付しております。また、eウォッチは全部で1万台あるのですが、当初予定していた台数の配付は終了しましたので、残りの台数につきましては、市内にそのまま配るのか、市外の方に使っただけなのか、現在検討しているところでございます。

なお、現時点の5,400台については、市内の方に使っただけのものになります。

●鈴木委員

まず、1点目の質問です。生涯健康プラットフォームの推進というのは、資料1-2にある新たな価値の創造に含まれる一つの事業だと読み取れるのですが、ビジョンを拝見しますと、いつまでも暮らしやすく便利で快適なまちということで、どちらかというとい既に居住している人がターゲットなのかなと考えております。一方で、資料2の今後の事業展望の中では、生涯健康プラットフォーム実装協議会が主体となり、最後の文章に全国の自治体の横展開を目指すとありますので、ビジョンとの整合性を考えると、ビジョンの中に含まれるものではなく、その範囲から外れるような事業として今後展開を検討されているといった認識で相違ないでしょうか。

●事務局

このサービスは、市内の方に使っていただくというのが大前提のサービスとなっております。その後、こちらの仕組みといいますかサービスを市外の方にも使っていただくというような2段階で考えておりますので、まずは、市内の方にお使いいただいて、市外の方にも幅広く利用してもらうことが目指すべき姿であると考えております。

●布施委員

今の質問に関連した内容になりますが、それは令和5年度事業というか今年度中にある程度進めていくということでしょうか。

●事務局

市外の方に使っていただく横展開については、早い時期の方が良いと考えておりますので、今年度から着手できればと考えております。

●明神委員長

資料のサービスの拡充として医療データ連携とありますが、医療データ連携といってもたくさんあると思いますが、どのぐらいのものを想定されているのかご説明いただけないでしょうか。

●事務局

医療データ連携についてですが、まずは江別市立病院との連携を検討しているところです。その中で、電子カルテの情報や健診データなど、どういう情報が本事業や市民の皆様にとって必要なのかというところを協議しているところです。まだ、詳細をお伝えするところまでには至っていないのですが、そのようなイメージで進めているところです。

●明神委員長

ほかに何かございますでしょうか。

《質疑なし》

3. (3) 今後のスケジュール等について

●明神委員長

それでは、「議事」「(3) 今後のスケジュール等について」、事務局より説明願います。



## ●事務局

それでは、今後のスケジュールについて、説明いたします。資料3をご覧ください。

はじめに、資料上段の未来型政策検討委員会については、4月27日に第1回委員会を開催し、本日7月28日が第2回の開催となっております。12月には第3回の開催を予定しており、令和5年度は合計3回の開催を予定しています。

次に、第3回検討委員会で予定している議題をご覧ください。

「①江別市DX推進方針の具体の取組について」に関しては、本日議事(1)でご説明したとおり、本年8月にDX推進方針の完成を予定しておりますが、江別市のデジタル政策を検討していく上での基本的な指針となっていることから、今後においても、引き続き各取組事項の進捗等を委員の皆様と共有させていただきたいと考えております。第3回では、具体の取組事項について、現在の取組状況や、今後の展望などについて、項目を抜粋して説明させていただく予定です。

また、「②デジタル田園都市国家構想推進交付金事業について」ですが、生涯健康プラットフォーム推進事業については、国の交付金を活用し、市としても力を入れて進めている事業でございます。①DX推進方針と同様に、引き続き進捗状況等についてご報告し、今後の展開等について、ご意見をいただきたいと思いますと考えております。

次に、「③会議のオンライン参加について」とありますが、第3回の検討委員会では、会場での参加に加え、オンラインでの参加も可としたいと考えております。

オンライン会議を導入する目的としましては、委員の皆様の移動時間を短縮し、参加に係る負担を軽減することではありますが、行政が所管する審議会ではあまり例がないため、本委員会で試験的に導入し、委員の皆様からご意見を頂戴したいと存じます。

オンライン会議のツールはZoomを利用する予定ですが、次回の日程調整の際には、会場参加かオンライン参加かが選択できるように入力フォームを作成いたしますので、オンライン参加が可能な方は、ご活用ください。

なお、オンライン参加の場合でも、謝礼の金額に変更はありませんが、通信費用や電子機器の電気料金については、ご本人様負担となりますのでご了承ください。

続いて、資料中段をご覧ください。庁内検討会議についても、未来型政策検討委員会と同様に年3回の開催を予定しております。外部委員会として位置づけられている本委員会での議論についても庁内で共有し、庁内・庁外で連携しながら、デジタルを活用した取組についての検討を進めていきたいと考えております。

資料下段をご覧ください。市民・関係団体等に関する事項をまとめております。

「出張スマホ教室」は、大型車両内にブースを設け、オンライン上でスマートフォンの使い方を教わることができる講座となっており、昨年2月から開催しております。開催以来、大変ご好評をいただいております。本日、8月分のチラシを机上配布させていただきましたので、後ほど参考にご覧いただければと思います。

その下の「集合型スマホ教室」については、公民館等の会議室で受講する講座となっており、こちらも昨年に引き続き実施する予定です。詳細は現在事業者と調整中ですが、今後、広報えべつや市HP等でお知らせいたします。

次に、「体験ブース出展」とありますが、こちらは、10月1日に野幌公民館で開催されるイベント「えべつ健康フェスタ」において、一部スペースをお借りし、生涯健康プラットフォームのPRをさせていただく予定です。

「健康フェスタ」では、体力測定や野菜の摂取量に関するチェックなど、健康に関わる様々な体験ができるイベントとなっておりますので、皆様ぜひご参加ください。

最後に、8月28日のChatGPT研修会については、最近報道等でも話題となっている生成AIのツールに関して、市職員や市内企業の方々を対象に、活用の仕方などを学ぶ研修会となっており、商工会議所の主催で開催する予定となっておりますので、

ご報告いたします。

資料3についての説明は、以上になります。

#### ●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

特に会議のオンライン参加というのを第3回で予定されていますが、皆様いかがでしょうか。今の段階でオンラインでやってみようかなというようなお考えなどあればお願いします。

#### ●樋口委員

仕事柄あちこちに行くことがあって、昨日まで東京にいたものですから、東京にいてもZoomでの参加が可能であればうれしいなと思いました。

#### ●佐藤（誠）委員

オンライン化は全然問題ないのですが、資料をPDFか何かで送ってもらえれば紙の資料は要らないと思われまます。ここは、日程についても予定を決めるのもメールでやっていると思うので、資料もPDFで送っていただければと良いと思います。

#### ●事務局

ペーパーレス化の関係もございますので、データで送ることは可能と考えております。

#### ●明神委員長

どこかにデータの置き場所というのを決めていただいて、そこにいつでもアクセスできるような何かを考えてもらってもいいかもしれません。グーグルドライブや共有の何かを使うという方法もあるかと思ひます。

他に何かございますでしょうか。

#### ●川口委員

オンライン参加についての質問ですが、例えば、参加する時に周りに人がいないだとか、そういう何か一定の条件みたいなものはございますでしょうか。

#### ●事務局

オンライン参加の際の条件ですが、説明でも申し上げたように行政側での実例も少ないことから、現在研究しながら準備を進めているところでございます。

次回会議の日程調整をさせていただく際には、その辺りも併せてご説明差し上げたいと思ひますので少々お時間いただければと思ひます。

#### ●明神委員長

大学の方でもコロナ対応でオンライン化に取り組まされたけれど、オンラインで参加される方は、いろいろ工夫しないと結構疎外感があったりするので、これについては常に声かけし続けるなど、走りながら工夫していったらいいと思ひます。やはり、デジタルの委員会なのでこういうことをやっていかないといけない思ひるので、ぜひ進めていただきたいと思ひます。

●明神委員長

ほかに何かございますでしょうか。

《質疑なし》

4. その他

●明神委員長

ありがとうございました。それでは、次第3「議事」を終結いたします。

それでは、次に移りたいと思います。

「次第4. その他」について、各委員から全体を通して何かございせんか。

●佐藤（誠）委員

将来的な話になりますが、めぶくIDを活用してデジタル通貨や地域通貨など、そういったところまで、5年10年のスパンで考えているのかをお聞きしたいです。普及するためには、例えば、江別の市内の中のお店で何か買物したら地域通貨的にeウォッチで決済時にかざすとポイントがもらえるというようなことだったり、紙でいただいてるのがデジタル通貨で変えられるとか、そういうような特権や便利さがあると普及につながるのかなと思っています。その辺は、いかがでしょうか。

●事務局

地域通貨の件ですが、現時点で具体的に進んでいるということはありませんが、5年10年という長いスパンで見たときに、生涯健康プラットフォームとの連携の可能性はあるのかなと考えております。

そのため、いただいたご意見を参考にさせていただいて、今後のプラットフォームの推進やデジタル化の推進に努めていきたいと考えております。

●干野委員

出張型スマホ教室のチラシを拝見しましたが、どのあたりに配架しているのか教えていただけますでしょうか。

●事務局

出張スマホの教室のチラシですが、各公民館に配架依頼をし、ポスターとチラシを置かせていただいております。また、高齢者とのつながりが深いということで、社会福祉協議会の事務局にも置かせていただいているほか、高齢者クラブ連合会にもご協力いただきまして、月1回の会議の際にお配りさせていただいております。

あとは、教育委員会で実施している高齢者大学の事業で蒼樹大学というのがございまして、65歳以上の方々がいらっしゃるため、そちらでもお配りさせていただいております。

このように、高齢者をターゲットとして、様々な事業でお配りさせていただいているといった状況でございます。

●干野委員

私が勤務している市民交流施設がらっとにも、初回か2回目ぐらいまでは配架依頼があったのですが、そのあとはなくなってしまったのでどうしたのかなと思っています。私どもの方では、市からの委託事業でインターネット予約した図書を受け取る窓口になっており、インターネットに親和性の高い興味がありそうな高齢者から質問

を受け、インターネットから出力してチラシをお渡ししたこともあるので、ポスターだけでもいいのでいただければありがたいなと思っております。

#### ●事務局

出張スマホ教室は、初期から大変ご好評をいただいております。当初様々な場所にチラシやポスターを配った結果、満席で予約があふれる事態が続いてしまったこともあり、配架先を少々調整した経緯がございます。

そのため、予告もせず市民交流施設にお配りしなかったという点について、大変申し訳ございませんでした。今後、可能であればポスターやチラシを配架していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### ●干野委員

ありがとうございます。経緯が分かったので、これからご質問いただいた方にも、説明ができると思います。

#### ●鈴木委員

質問というわけではなく意見になるのですが、先ほどの地域通貨みたいな話もありましたが、地域通貨まではなかなかハードルが高いのかなと思いました。

eウオッチをつけることによって何かインセンティブみたいなものの方が、例えば、オンライン上で健康食品のショップも開かれてますけども、そういうものもリアルで開催して、eウオッチを付けている人をご招待したり、あるいはeウオッチを付けている人たちを集めてみんなで朝のラジオ体操するとか、そういったリアルとオンラインの両方を組合せたような取組なんかをやりながら、草の根的に盛り上がっていくと普及率も上がると思いますし、宣伝にもなってみんなが使っていきたいなと思うと思います。また、市民の交流にもなるかなとおもいますので、そういった取組を考えていただきたいなと思います。

#### ●事務局

eウオッチの普及や継続して使っていただく仕組みについて、インセンティブも含めて重要なことだと認識しております。

今後、実装協議会ができますので、その中でそういう内容についても考えていきたいと思っております。

#### ●明神委員長

ほかに何かございますでしょうか。なければ、事務局よりご報告をお願いします。

#### ●事務局

次回、第3回の開催は12月頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

#### ●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

《質疑なし》

#### 4. 閉会

##### ●明神委員長

本日予定の議事につきまして、すべて終了いたしました。

以上をもちまして、「令和5年度第2回江別市未来型政策検討委員会」を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。